

# 令和4年度 指定管理者モニタリング年度評価シート

[山形市養護老人ホームあたご荘]

施設概要			
施設名(所在地)	山形市養護老人ホームあたご荘 (山形市大字岩波5番地)		
施設目的	原則として65歳以上の方で環境上及び経済的な理由により、自宅で養護を受けることが困難な方に入所していただき、心身の健康の保持並びに生活の安定のために必要な措置を講じることで老人の福祉に期することを目的としている。		
指定管理者(選定方法)	社会福祉法人 山形市社会福祉事業団(選定方法:非公募)		
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
指定管理者が行う業務	1 老人福祉法に規定する入所措置に関する業務 2 入所者の養護、健康管理、安全確保に関する業務 3 関係機関との連携に関する業務 4 介護保険法に基づく特定施設入居者生活介護又は介護予防特定施設入居者生活介護の提供に関する業務 5 施設及び設備の維持管理に関する業務等		
利用料金制導入の有無	有		
施設所管課	福祉推進部長寿支援課		
評価区分	評価項目	評価ポイント	評価
管理運営の状況	人員配置	人員配置は過不足なく適切に行われたか	A
	有資格者の配置	必要な有資格者の配置は適切に行われたか	A
	資質向上	職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	受付・接客	接遇向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	平等利用	特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いが適切に行われたか	A
	利用者サービス向上	利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	広報	利用者への広報は情報提供として適切に行われたか	A
	備品・建物等の管理	備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか	A
	安全対策	利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか	A
	危機管理	緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか	A
	事故・苦情の対応	事故・苦情に対する対応は適切に行われたか	A
利用の状況	開館日数	開館(日数)は適切に行われたか	A
	開館時間	開館(時間)は適切に行われたか	A
事業実施の状況	実施回数	実施回数は目標を達成したか	B
	参加者数	参加者数は目標を達成したか	B
	事業内容	事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか	A
の満足調査度	利用者満足度の把握	アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか	A
	利用者満足度向上	アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
維持管理の状況	清掃(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	清掃(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保安警備	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	修繕等維持管理	修繕等は適切に行われたか	A
収支の状況	利用料金の収受	利用料金の収受は規定の料金を適正に収受するなど適切に行われたか	A
	経費の縮減	経費縮減についての取り組みは適切に行われたか	A

## 成果のあった主な取り組み

- 感染症拡大防止対策に取り組みながら、職員の資質向上のため、研修への積極的参加を行った。
- 各委員会や係の活動に関して、年度当初に目標や指針を定めることにより委員会・係活動に対しての職員の意識付けを図り、活動の実効性を高めるように努めた。
- 感染防止対策を講じながら、前年度までの反省を生かし、より入所者に楽しんでいただける事業の検討や実施を図ることができた。
- アンケートの実施時期を夏、冬の2回に分けることで、年度を通して定期的に入所者の意見を取り入れる機会を設けることができた。
- 建物・設備の老朽化に対して、業者との連絡調整を行い、出来る限り迅速な対応に留意し、入所者の生活に大きな支障が出ないように努めた。
- 電気、重油、ガソリン等の値上げがあったが、補助金等の活用等により収支のバランスを図ることができた。
- 水道、電気については夜間等介護員や宿直員が見回りをを行い、蛇口の閉め忘れ、電気の消し忘れ等を点検し節約に努めた。また、設備・機器の老朽化等による漏水等に迅速に対応するよう努めた。

## 主な課題や今後の対応

- コロナ禍における入所者の単調な生活に対する日々の余暇活動等については、少しずつ新たな事業を開始したものの、天候や季節に左右される面もあり、恒常的に継続し実施できる事業の立ち上げまでには至らなかった。
- 新型コロナウイルス感染症の5類引き下げを受け、今後は感染症に留意しながらも新たな事業の展開を目指していく。加えて、コロナ禍で活動の制限や縮小や入所者の心身状態の低下が見られるため、心身状態の維持や向上に取り組んでいく。
- 入所者の充足率の向上を図るため、山形市及び関係機関と連携しながら取り組みを進めていく。
- 前年度から事業参加者数が大きく変わらなかったため、次年度は毎日の体操、散歩を含め、継続的に参加が可能な事業実施に努め、余暇時間の過ごし方の提供や、運動不足による筋力低下を防ぐ事業実施に努める。
- 庄長と語る会において、日常的に対応可能な要望や言葉掛け等の基本的な支援方法に関する意見が出されたことは、日々の業務や支援に対し、職員一人一人がより意識していかなければならないと感じる結果となった。
- 建物や設備の老朽化に対して、巡回等により異常の早期発見に努めていく。
- 入所者の生活に支障が出るような修繕等に対しては、山形市に迅速かつ適切に報告し、対応について検討をお願いする。
- 様々な物価の上昇や燃料費、電気代等の高騰により、大変厳しい収支状況となる見込みであり、山形市と更に連携を図りながら、適切に対応できるよう努めていく。
- 節電・節水に努め、老朽化した機器・設備の故障等に対して迅速な修理対応に努める。
- 老朽化した電気等の器具交換修理については、できる限りLED化となるように継続対応し、長期的な節電効果に留意していく。

## 評価コメント

(管理運営の状況について)

職員の資質向上のため、研修への積極的参加を行い、緊急時の対応に備えており、評価している。また、以前より緊急時の対応について、災害時相互応援協定を締結している地区町内会や地域内福祉施設等と合同で訓練や研修を重ね、発生の際の対応について備えている点も評価している。

(事業実施の状況について)

感染対策を講じながら工夫して事業を実施することで、入所者のやりがいや楽しみのある施設生活につなげている。利用者アンケートによる評価も高く、また、アンケートの他に庄長と語る会等を開催し、定期的に入所者の意見を取り入れる機会を設け、施設運営に反映している。

(収支の状況について)

水道光熱費については、定期的な見回りをを行い、蛇口の閉め忘れや電気の消し忘れ等を点検したり、老朽化による漏水等に迅速に対応したりと、経費節減に積極的に努めている姿勢が伺える。

入所者が一生を過ごすための施設であり、環境上及び経済的な理由等により居宅において養護を受けることが困難な高齢者であるため、人間関係での配慮が必要であり、引き続き利用者職員との継続的な信頼関係に基づく施設運営を期待したい。